

東京都  
地域の底力発展事業助成

事例集

(令和4年2月作成版)



東京都生活文化局

## 目次

<b>A</b> 区分	梅丘1丁目町会	2
<b>A</b> 区分	もみじ台町内会	4
<b>A</b> 区分	世田谷区下代田東町会	6
<b>A</b> 区分	ジュネシオン平井自治会	8
<b>A</b> 区分	菊川一丁目町会	10
<b>BS</b> 区分	青梅市自治会連合会第八支会	12
<b>BS</b> 区分	田園調布南町会	14
<b>C</b> 区分	川口町中部町会・川口町西部町会	16
<b>C</b> 区分	上石原第一自治会・上石原第二自治会・ 上石原第三自治会・上石原第四自治会	18
<b>D</b> 区分	絹ヶ丘一丁目自治会	20
<b>D</b> 区分	高尾台自治会	22

# A

## 区分

### 梅丘1丁目町会

### 世田谷区

## 梅丘1丁目町会 高齢者見守り活動に関する講習会

実施期間	令和3年6月16日～令和3年12月24日
参加人数	約80名
事業費総額	約22万円

### 事業の概要

1. 検温・手指消毒を会場の入り口にて徹底して実施
2. 「高齢者見守りの心得」や「地域に密着した防災と非常時対策」それぞれの内容についてビデオ視聴と講演を実施
3. 参加者の発声は自粛していただきながら、抽選会を実施し、当選された方の席に景品をお届けするなどの工夫をした
4. アンケートと引き換えに、参加賞（アルファ米）を配布

### 主な経費

打合せ経費：お茶

物品購入費：検温オートディスペンサースタンド、消毒スプレー、景品（海苔、だしパック）、参加賞（アルファ米）、インク、用紙、景品貼り付け用ラベル用紙、チラシ掲示用クリアポケット

### 事業の効果

- 地域において、高齢者が安心して暮らせる街にしていこうという意識の向上につながった。
- アンケートにおいて若い世帯への支援についてご提案いただくなど、町会活動に対し関心を持っていただけた。
- コロナ感染拡大防止を顧慮し、人数の制限、検温・消毒の実施、発声の自粛等をし、町会活動を実施することができた。



## 写真ギャラリー



# A

## 区分

### もみじ台町内会

### 町田市

## 「もみじ台ファミリー祭」による地域の一体感醸成事業

実施期間	令和3年6月27日～令和3年12月5日
参加人数	約83名
事業費総額	約15万円

### 事業の概要

1. 区割りをした畑で芋掘り（サツマイモ・里芋）を行った
2. 家族ゲーム、スーパーボールすくい、ドリブル&シュート、グランドゴルフ、縄跳びレースを実施
3. 収穫したさつまいもを焼き芋にして、楽しんだ
4. 参加者に「多文化共生推進チラシ」の配布

### 主な経費

謝礼金：農園借上げ・指導謝礼

打合せ経費：打合わせお茶代

物品購入費：熊手、木炭、てみ、鎌、薬品、グランドゴルフ、サッカーボール、縄とびの縄、スーパーボール、ゲームの景品、チラシ用インク、チラシ用色紙

役務費：イベント保険

### 事業の効果

- 本当楽しく、焼き芋も格別だったとの感想をいただき、町内会活動の重要性を認識できた。
- 活動自粛で溜まっていたストレス解消にも役立てた。
- 大規模イベントの開催継続が困難な中、内容を充実させることで参加者を増やして楽しめるイベントを目指したいという新たな目標ができた。



## 写真ギャラリー



# A

## 区分

### 世田谷区下代田東町会

### 世田谷区

## 下代田東 子供祭り・納涼祭り

実施期間	令和3年5月5日～令和3年8月4日
参加人数	会場参加者約60名 オンライン視聴者約100世帯
事業費総額	約21万円

### 事業の概要

1. 盆踊りの練習会をオンラインで行う
2. 下代田東町会子供祭り・納涼祭を開催し、同時にオンラインで配信する
3. 吹奏楽やダンスの発表を会場からオンラインで配信する

### 主な経費

物品購入費：舞台装飾品、飲料、消毒液等  
レンタル・リース料：撮影・配信機材レンタル費

### 事業の効果

- オンライン配信をすることにより、新たな層へ町会活動をアピールすることができた。
- 町会活動を実施することにより、コロナ禍でも町会内の連絡を頻繁に行えるようになり、町会のつながりを再認識することができた。



## 写真ギャラリー





# A

## 区分

### ジュネシオン平井自治会

### 江戸川区

## 復活祭

実施期間	令和3年11月7日～令和3年12月19日
参加人数	約241名
事業費総額	約27万円

### 事業の概要

1. 緊急事態宣言が解除されたことから、延期していたお祭りを復活した
2. 十分なソーシャルディスタンスを取りながら、復活祭として縁日を実施し、鉄板焼き・豚汁・ポップコーンなどの模擬店や三角くじによる景品の配布を行った

### 主な経費

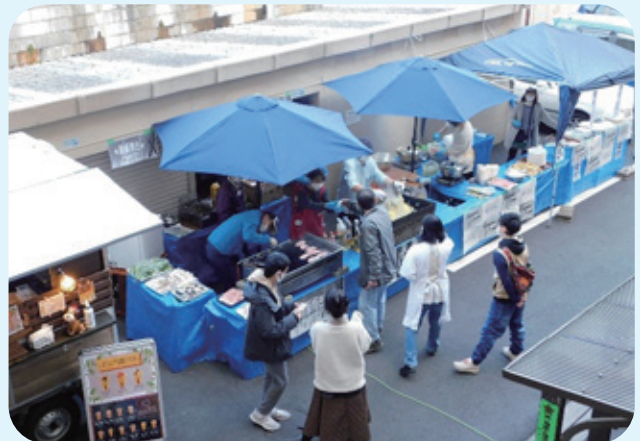
打合せ経費：お茶  
物品購入費：コピー用紙・プリンターインクリボン・模擬店用材料・模擬店用資材・参加賞（三角くじ景品ボードゲームなど）・三角くじ  
印刷経費：ポスターなど周知物の印刷代  
レンタル・リース料：大型鉄板コンロ・ポップコーン機・電気フライヤー

### 事業の効果

- 地域における自治会活動への住民の関心の深まり、世代間の交流につながった。
- 地域住民の交流促進や自治会活動の参加のきっかけを作り、地域の活性化・高齢者のフレイル対策・若い方の自治会活動への参加促進につなげた。



## 写真ギャラリー



# A

## 区分

### 菊川一丁目町会

### 墨田区

#### 餅つき大会を通じた世代間交流・多文化共生社会づくり事業

実施期間	令和3年7月20日～令和3年12月25日
参加人数	約320名
事業費総額	約27万円

#### 事業の概要

1. パネル展示で町会の幅広い活動を写真で紹介し、地域に住む町会未加入世帯の町会加入促進につなげていく
2. 下記の参加団体と協力し、餅つき大会を実施。これにより世代間交流を行い、良好な関係を深めていく
3. 町内の中国人学校へ参加を呼びかけ、日本の文化や町会の活動を知っていただき、共に支え合う意識の醸成を高めていく

#### 主な経費

物品購入費：餅つき食材、豚汁食材、簡易容器、衛生用品、ワイヤレスアンプ、マイク  
レンタル・リース料：臼・杵、プロパン・コンロ

#### 参加団体

菊一子供会、菊寿会、女性ボランティア、菊一レスキュー隊、菊一太鼓

#### 事業の効果

- 他団体との連携が強化され、今後の地域活動の発展に向けて契機となった。
- 多文化共生社会づくりの大切さについて地域住民にチラシ配布と掲示板による告知により、理解を深めるきっかけ作りが出来た。



# 写真ギャラリー



**BS****区分****青梅市自治会連合会第八支会****青梅市****地域・学校連携事業**

実施期間	令和3年4月18日～令和4年1月27日
参加人数	約400名
事業費総額	約64万円

**事業の概要**

1. 小・中学校、地域住民向けに、地域の歴史と文化を伝える出張授業を実施
2. デジタル活用及び感染症対策の一環で、授業の様子を撮影・動画編集し、YouTubeで配信をした

**主な経費**

打合せ経費：お茶  
物品購入費：動画編集用パソコン、動画編集ソフト、撮影用デジタルビデオカメラ、自立脚付一脚、用紙、インク  
印刷経費：教材印刷、回覧印刷  
役務費：郵送料、送料

**参加団体**

青梅市立第四小学校、青梅市立霞台小学校、青梅市立霞台中学校、青梅市立吹上中学校

**事業の効果**

- 地域の歴史を学ぶことで、友達や家族、地域の方々と地域の良さを話し合うきっかけづくりができた。
- 地域の身近な話題を動画配信することで、パソコンやスマホを普段あまり使わない人が自発的に活用するきっかけになった。
- コロナ禍において、自治会と地域住民を繋げる手段としてパソコンやスマホを活用できることが分かった。
- 動画配信を通じて、自治会未加入世帯の方にも自治会活動のPRができた。



## 写真ギャラリー



**BS****区分****田園調布南町会****大田区**

## デジタル機器を活用した防災講習会

実施期間	令和3年10月12日～令和3年11月14日
参加人数	約46名
事業費総額	約25万円

### 事業の概要

1. スマートフォン及び防災アプリの使い方講座
2. 区の出張所からオンラインで学校防災活動拠点について講習
3. 消防署からオンラインで災害時の避難ポイントの講習、消防団によるAED操作実演と参加者による体験操作

### 主な経費

謝礼金：スマホアプリの使い方講習会講師への謝礼金  
打合せ経費：オンライン用カメラ・スピーカー一式、打合せ用ペットボトルお茶  
物品購入費：会館設置TVモニター一式、接続用PC、接続ケーブル

### 参加団体

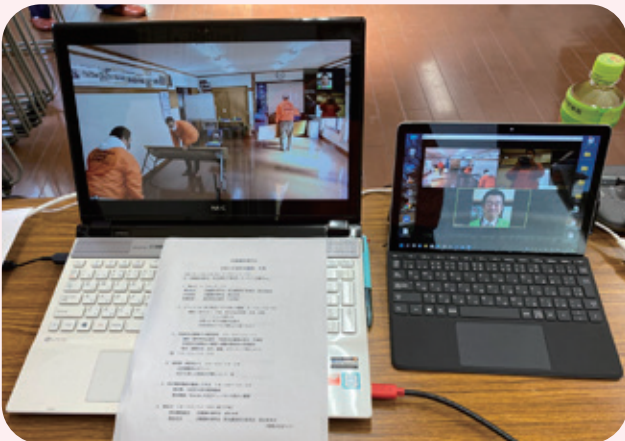
嶺町特別出張所、田園調布消防署、消防団

### 事業の効果

- 積極的な実体験の参加や、有意義な意見を頂き、地域の防災意識の高まりを感じることができた。
- 導入した設備を使ったオンライン会議も好評で、これからの地域のイベントの手段として有効であることがわかった。



## 写真ギャラリー







区分

川口町中部町会・川口町西部町会

八王子市

## 避難所運営と防災訓練

実施期間	令和3年7月16日～令和3年10月23日
参加人数	約150名
事業費総額	約50万円

### 事業の概要

1. 一時避難所で避難者名簿を作成し、避難者と町会役員から被災・安否情報を収集
2. 避難所の屋外に設置した簡易テントで入所前の検温・問診・手指消毒をし、避難所内の指定エリアに移動
3. 地震発生時の避難に関する資料と、雨天で中止した土のうづくり・炊き出し体験について簡単な見える化資料を配布、説明
4. 車いす体験で、段差や狭い避難所内の移動、車いすの操作と実車を体験

### 主な経費

物品購入費：屋外用簡易テント、スタッフ用ベスト、名入りボールペン、消毒液

### 参加団体

八王子警察署、地元消防団、八王子市高齢者あんしん相談センター

### 事業の効果

- 町内の防災意識を高め、被災時に適切な行動をとれるよう訓練を実施することができた。
- コロナ禍における発災を想定し、避難所の開設や運営をおこなった。
- 訓練を実施することで、地域における防災に対する意識の変化が感じられ、若い世代の参加が目立った。



## 写真ギャラリー



# C

## 区分

上石原第一自治会・上石原第二自治会・  
上石原第三自治会・上石原第四自治会

調布市

### 近藤勇の生誕地を地域の子供たちに知ってもらうとともに、 新旧住民の交流事業

実施期間	令和3年5月1日～令和3年11月19日
参加人数	約397名
事業費総額	約47万円

#### 事業の概要

1. 幕末歴史家の講演
2. 調布市剣道連盟の子供剣士や天然理心流の演武とお囃子
3. 参加者に「多文化共生推進チラシ」の配布

#### 主な経費

謝礼金：イベント出演謝礼、講演謝礼  
打合せ経費：打合せお茶代  
物品購入費：参加賞、看板製作、のぼり旗、ゴム印、会場整備用品、水分補給用飲料  
印刷費：ポスター、チラシ、祭り式次第、実行委員会開催通知  
レンタル・リース料：テント、椅子、音響設備、会場費  
工事費：舞台工事

#### 参加団体

西光寺、上石原若宮八幡神社、上石原はやし連、調布市消防第二分団、調布市剣道連盟、天然理心流門人会、調布市商工会、調布市観光協会、西調布振興会、東京フットボールクラブ株式会社、近藤勇と新選組の会、第三小学校、地区まちづくり協議会

#### 事業の効果

- コロナの影響により模擬店の中止という判断をせざるを得なかったが、多くの参加者があった。
- 自治会へ未加入の住民の関心を得ることができた。
- 新旧住民に交流の場を提供できた。



## 写真ギャラリー



# D

## 区分

絹ヶ丘一丁目自治会

八王子市

### 防災講演会・安否確認訓練手順説明会及び安否確認訓練

実施期間	令和3年8月9日～令和3年11月21日
参加人数	約150名
事業費総額	約34万円

#### 事業の概要

1. 防災に関する講演会を実施
2. 発災時緊急連絡網を作成し、電話とタオルを使った安否確認訓練の実施
3. 通信訓練や仮設トイレ設置訓練の実施

#### 主な経費

打合せ経費：お茶  
物品購入費：メッシュベスト・トートバック・省電力デジタルトランシーバー・  
タープテント・防滴メガホン・コピー用紙・インク・単2電池

#### 参加団体

絹一・フレンド（連携団体）

#### 事業の効果

- 地域における防災への関心が深まった。
- 緊急連絡網の災害時における有効性や課題の確認ができた。
- 訓練を通じて地域住民とコミュニケーションをとることができた。
- 新たに電話での安否確認（一部）が可能になった。



## 写真ギャラリー



**D****区分****高尾台自治会****八王子市****住民同士顔の見える防災街作り推進事業**

実施期間	令和3年6月20日～令和3年11月14日
参加人数	約270名
事業費総額	約39万円

**事業の概要**

1. 災害時要支援者重視の観点から、高尾台曙会（シルバー倶楽部）との連携で「防災訓練」ならびに「住民交流会」を行う
2. 初期対応力を高める目的で、地域をブロックに分け、街中訓練を実施
3. 街中訓練後、高尾台西公園に移動し、健康体操を行った後に全体訓練を実施
4. 炊き出し訓練としてアルファ化米とカレーを提供し、地域住民の交流会を開催する

**主な経費**

物品購入費：アルミ防火服、ケブラー手袋、LPガスボンベ、コンロ、LPガス発電機、カレー材料、消耗品  
 印刷経費：ポスターカラーコピー

**参加団体**

高尾台曙会（連携団体）、城山病院、野菜を作る会、手芸の会

**事業の効果**

- コロナ禍の防災訓練が3回目となり感染防止対策対応力が高まった。
- 発災時の初期対応力を重視し、ブロック体制強化を方針としてきたが、街中訓練を重ねることで「お互い顔の見える」防災街づくりが進んでいることを実感できた。



## 写真ギャラリー

